

きらり

酒田市農業委員会報 No.28



「一面が白いじゅうたんに ソバの花が満開!!」 ～松山・山寺地区～

特集

ニンジンソバ 輸出用米 田んぼを有効活用しよう!! (2、3面)

～土地利用型作物の可能性と課題を探る～

建議・要望を市長に提出 (4面)

農業委員会活動レポート (5面)

新規就農者の紹介 Fresh Farmer はじめの一步 (6面)

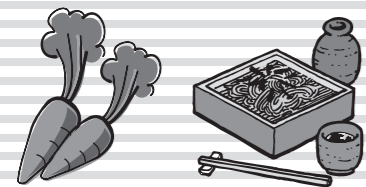
若手農業者リレーエッセー かぜ

農業一筋 短信 (7面)

酒田の“旬”を食す 秋 (8面)

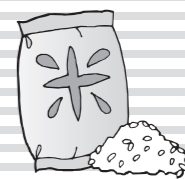
24

年秋季号



ニンジン ソバ 輸出用米

田んぼを有効活用しよう!!



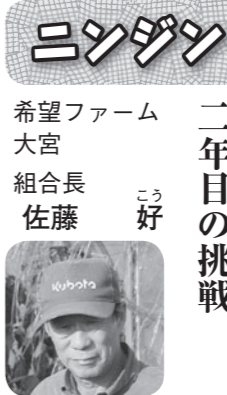
特集

土地利用型作物の 可能性と課題を探る

酒田市の転作作物としては大豆が主に生産されていますが、稲作農家の所得向上や農地の有効活用を図るため、新たな土地利用型作物への取り組みが重要になっています。

今回は、ニンジン・ソバの栽培に取り組んでいる生産者の方にお話を聞き、土地利用型作物の可能性と課題を探ってみました。

二年目の挑戦



希望ファーム
希大組 長 佐藤 好

◆カレールの具プロジェクト

J A庄内みどりの「カレールの具プロジェクト」の支援を受けて、今年が二年目の栽培になります。昨年は集中豪雨で畑が冠水し、大きな被害を受けて、出荷できたのは一五〇〇袋だけでした。

ニンジン栽培は、現在ファーム組合員二六人いますが、畑作部の組合員を中心に一〇人で取り組んでいます。

◆今年の栽培・収穫状況

今年六月月中旬から七月上旬の間に、三回に分けて約二三〇

ア作付けしました。

品種は小売りに向いている「向陽二号」です。来年はさまざまな需要に対応できるように、加工用に向けた品種などにも取り組みたいです。

収穫状況は現在、作付面積の三分の一くらい終わりました。これからの天気にもよりますが、一月中旬頃まで続きます。収穫作業は三日に一回行い、一日



乗用収穫機が大活躍

の収穫面積は約一〇アです。その後二日間かけて洗浄や選別の処理を行って出荷します。

◆上々の出来

昨年は集中豪雨による被害がありましたから、今年は記録的な猛暑が出来にどのよう影響するか心配しましたが、出荷量で三〇〜四〇トが見込まれ順調です。品質も組合員の細かい生育管理により、出荷先からは上々の評価をいただいで、これからの作業の励みになっています。

◆販路開拓に向けて

現在は全て農協に出荷しています。これからは農協を通して市場や業者サンプルを送るなどして、販路開拓にも力を入れます。また出荷量の多い北海道産や青森県産は一二月頃に切れ間ができるので、そのあたりの市場動向も考慮した作付・出荷体制の確立も検討しています。

◆よりおいしいニンジンに

栽培にあたっては、農協や農業技術普及課の指導をいただいています。が、「畝幅を広げた方が良かった」「肥料が多すぎた」など反省点もあります。

ソバ 高品質のソバを



八幡地区
青沢 荒生 隆

◆稲作と作業分散

私がソバ栽培を本格的に取り組みきっかけは、専業農家となって規模拡大する時に、基本一人で農作業ができる作物を選ぶことを考えたからです。

水稲の面積を増やすと一人で作業を回すことが難しいので、稲作と作業を分散して行うことができるソバを選びました。

◆今年の栽培・収穫状況

今年約一〇・五畝に作付けし、品種は「でわかおり」です。ソバは湿害に弱いので排水対策は十分行いました。

まだ収穫と調製作業の途中です。はつきりしたところは分かりませんが、収量・出来ともに前年並みと見込んでいます。

◆風味・香りを追求

本格的に栽培を始めて八年目になります。他の栽培者と差別化を図るため、自分なりのやり方を毎年研究して、独自の肥



収穫作業も1人でいきます

料設計でやっています。

そしてソバは、実の黒化率六割で刈り始めて八割で刈り終えると風味・香りの良いソバができるので適期での収穫には気を付けています。

◆課題とこれから

収穫したソバを調製した結果、どうしても出荷に回せない物が発生します。それは使いみちがないため、今後有効利用できる方法があればと思っています。また、作業の効率化・省力化を考えて機械化していますが、初期投資が大きくかかります。

これからの目標は、一〇アあたりの収量で八〇kgを安定して生産することです。そして、多くの方に風味・香りの良いソバをお届けできるように挑戦を続けていきたいです。

輸出 香港へ新米が輸出されました

一〇月二三日に南遊佐地区の農家が生産した米が鳥海ミナリスセンターから、香港への輸出用米として、はえぬき（特栽培）六四〇袋（三二〇俵）が出荷されました。香港への米の輸出については、中国本土と異なり、震災後の輸入規制地域に本県が含まれていないことや所得水準が高いことなど米の輸出の可能性が高いということを選定されたものです。

昨年一月には、農業委員会と庄内みどり農協の関係者が現地を訪問し、輸出に向けて現地の状況を調査しながら、食品輸入会社とも話し合いを進めてきた結果、今回、庄内みどり農協が日本の輸出会社と契約を締結し、輸出が実現されたものです。

輸出用米は、水田活用の所得補償交付金の対象とはなりません。が、新規需要米として転作扱いとなり、生産農家にとっても水稲を作付しても転作面積にカウントされます。需要に応じた



洗浄も大事な作業の一つです

来年度は種苗会社などでより専門的な研修を受けて、播種密度の改善や除草体系の確立をしていきたいです。また販売に有利な小売りの出荷ができるように適期での播種・除草・収穫に努めます。

◆ファーム経営の柱に

これからは機械化一貫体系を確立して、三〇〇アまで規模拡大を考えています。そして安定生産のため、「FOEAS（地下水位制御システム）」導入の検討や春採りニンジンの試験栽培も行っています。

ファームは来年度に法人化を検討しています。ニンジンがファーム経営の柱となって、山形県でのニンジン産地に定着するようにがんばっていきます。



輸出拡大に期待を込めて

対応となりますが、水田に水稲をできるだけ作付したいと希望する農家にとっては大きなメリットになると思います。今後の輸出の量的拡大に期待したいものです。

カレーライスプロジェクト（土地利用型作物導入支援事業）



試食をしながら審査中

酒田市では、転作田でのタマネギ、ニンジン、ジャガイモの生産体制を確立するために、「カレーライスプロジェクト」（土地利用型作物導入支援事業）を推進しています。農林水産まつりでは、プロジェクトを盛り上げる目的に「酒田のご当地カレーレシピコンテスト」が行われました。

「農業者の声を届けて 酒田農業の発展を目指す!!」



市長へ提出 酒田市農林行政に対する 『建議』『要望』

平成24年度 建議の骨子

1. 担い手の育成

- ◎酒田の農業ビジョンに則った施策を推進し、農業経営の多角化による経営改善から所得向上を図る
- ◎若者が意欲的に営農を継続できるような人材育成体制の整備を図る

2. 園芸の振興

- ◎園芸振興のモデル的存在であり牽引役となる生産者、組織等を積極的に支援するとともに、これからの園芸を担う若い生産者を育成していく体制の整備を図る
- ◎種苗センターを設置するにあたり、戦略的品目をきちんとマーケティングするなど十分な調査、検討を実施する

3. 農地・水保全管理支払交付金の事業運用

- ◎水資源の量・質の保全など、高度な保全活動は一体的な取り組みにより大きな効果が期待されるため、取り扱いの運用について隣接する市町と連携を図る
- ◎個人の用排水路の新設など対象とならない活動が、より柔軟に土地改良区と行政の連携で、地域の実情に合った活動が対象となるよう国・県に働きかける

4. 集落営農と人・農地プラン

- ◎集落営農・法人化・戸別完結型集約等、形態にとらわれることなく、いかに農村集落の環境を維持していくか等の施策を取り入れた制度設計に取り組む
- ◎人・農地プランでは、特定農業団体の構成員は新規就農や農地集積の助成が受けられないため、制度的矛盾を是正し、地域を支える農業者が適正な助成を受けられるよう国・県に働きかける
- ◎特定農業団体の内部事務が煩雑になっているため、申請手続き等の簡素化を図る

5. 女性農業者の育成、食育・地産地消の推進

- ◎各種農業関係団体の方針決定過程へ女性が参画できる環境を整える
- ◎地元農産物を使った郷土料理・行事食、在来野菜を使った料理を学校給食に一層取り入れる
- ◎子どもたちが田植えや野菜作りなどの農業体験を継続して実施できるよう支援策の拡充を図る

6. 無人ヘリ防除組織の支援

- ◎無人ヘリによる共同防除作業は稲作に不可欠なことから、無人ヘリ防除組織の現状の理解と支援を国・県に働きかける

農業委員会では、農業現場の声を本市農業政策に反映させるべく、九月一日、市長へ「建議」「要望」を提出しました。

作成にあたっては、広く農業者、農業関係団体等の意見を集約し、今後の農業施策に反映していただきたいものは建議、平成二五年度の農林予算に検討いただきたいものは要望として取りまとめました。

市長からは「建議内容の実現に向けて、一緒に知恵を出していきましょう。」と力強いコメントを頂きました。

主な要望内容（抜粋）

- 一貫性のある農業政策の実施と新規就農・農地集積の支援が実効性のある施策となるよう国への働きかけ
- 庄内バイオ研修センターの技術を活かして、新品種の園芸作物の開発
- 農地・水保全管理支払交付金がより柔軟に地域の実情に合った活動が対象となるよう国・県への働きかけ
- 集落営農組織を牽引するリーダーを育成するため、法人化



市長との意見交換

に向けた研修会等の実施と作業調整等の煩雑な業務を補完する支援策の実施

○さかた中町マルシェのスタッフを食育推進員として育成し、各種イベント等で幅広く活動できる体制整備

農業委員会活動レポート



去る10月28日、中町の商店街で農林水産まつりが開催されました。毎年恒例の「お米の鏡割り」でスタートし、各テナントには酒田の秋の実りがズラリと並び、多くの市民で賑わいました。

農業委員会では、酒田の農産物の紹介やサツマイモの販売・試食、バクダンあられのプレゼントなどを行い、日頃の農業委員会活動を市民の皆さんにPRしました。



安心・安全・おいしい酒田をPR

酒田市農林水産まつり2012



酒田市農業青年 出会い・交流創設事業 part II

X'mas前に...

素敵な出会いの場をプロデュース!!

『恋めつるコース』



ワインとフランス料理のフルコースを
楽しむ男女の交流パーティー

日時 12/15(土) 18:00start

場所 ル・ポットフー

参加対象 25歳から45歳の独身男女
※男性のみ酒田市の農村地域在住の方限定

募集人数 男女各15名(先着順)

参加費用 男性3,000円 女性2,000円
※女性は2人以上の同時申込で参加費半額

募集期限 11月16日~12月5日まで

詳しくは、農業委員会事務局までお問い合わせいただくか、市ホームページ【農業委員会】をご覧ください。

TEL.0234-26-5767 <http://www.city.sakata.lg.jp/>

今年も大豊作!
サツマイモ収穫



去る一〇月二二日、宮野浦地区の畑で、農業委員会が自主事業で栽培しているサツマイモの収穫作業が行われました。今年には猛暑と干ばつなどの影響が心配されましたが、前年に引き続き大豊作でした。手掘りと収穫用機械で作業を行い、終了予定時間をオーバーしても、収穫の喜びを感じながらいい汗を流しました。

農林水産まつりでは、サツマイモの販売と、おいしい焼き芋を試食していただき、多くの市民に農地の有効利用をPRしました。



ケースいっぱいのサツマイモ

Fresh Farmer はじめの一步

～ 新規就農者の紹介 ～



感謝と希望の 農業を目指して

西荒瀬地区・藤塚

佐藤 雄輝

私は農業を始める前まで、教育関係の仕事に就いていました。一年を通して、小中学生と寝食を共にする生活でした。そこでは「食べることをとても大切にしていて、食事の前後には黙祷をしていました。野菜やお米、肉や魚など、これからいただく「命」に感謝するため、また、それを作ってくれた農家や調理してくれた人など、食卓に並ぶまでに携わった人たちの苦労に感謝するためです。直前までどんなに騒いでいても、食卓につき「黙祷」の声がかかると、正座をして姿勢を正し、静かになつていました。

私は長男のため、「いつかは家業を継ごう」と思っていました。それに加え、飽食と言われる時代に、農産物や農業従事者に対してこんな感謝してくれる人たちがいることを知り、就農することを決めました。



地域の担い手として期待大

我が家では、水稻栽培を基盤に、野菜も栽培しています。市場への出荷と直売所にも出しています。農業は天気・天候の影響をとでも大きく受けます。ブロッコリーでは、苗作りは上手くいったものの、畑に移植した後の時期はずれの寒さで、ピンポン玉くらいの大きさにしかならなかったことがあります。また過去には、台風で舞い上がった塩の影響で、刈り取り直前の稲がほとんどダメになってしまったことがあると聞きました。

「せっかく手をかけてきたのに・・・」と思うこともあります。自分が育てた野菜や米にどこかで感謝してくれている人がいる、その感謝に恥じないよう、これからも田んぼや畑に向かいたいと思います。

かせい

～若手農業者リレーエッセー～



このエッセーの話を

いただいた、最近農業について何も考えていない自分に気づきました。高校の入学祝いでグレンタンクのコンバインを買ってもらい、卒業時に2トダンプを買って嬉しかったことを覚えています。

就農してからは、地区の先輩方に草刈り・大豆作業・米搬入・酒飲みなど共同作業のやり方を教えてもらい、飲みながら稲作のコツも教えてもらいました。また、スーパー農業経営塾などに参加して勉強もしました。

当時は、「ササニシキをつぶさないで作りたい」「ストックの鑑別を覚えたい」「メロンを

『自分の農業スタイルは？』

新堀地区 佐々木 治 人

作りたい」「農業機械をうまく乗りこなしたい」「お嫁さんをもりたい」など、いろいろ考えたり、妄想したりして農作業をしていたように思います。

私には二人の子どもがいて、長男は水泳、長女は剣道の選手です。子どもたちのがんばりに楽しませてもらっていますが、毎日目標に向かってがんばる姿を見て、私も当時のように目標を持って農業をしなければと思いました。子どもたちが興味を持てる農業経営を目指して、できることから挑戦したいです。

長年お世話になった農協青年部は、盟友同士で情報交換をしています。様々な経営スタイルの話を聞ける絶好の場になっています。これからは、先輩はもちろん後輩にも情報をもらいながら、我が家の経営スタイルを探していきたいです。



農業一筋

酒田地区・大町

白畑 三也 夫婦
ふさ子



農業委員がおじゃましてお聞きしました！

三也さん（七七歳）とふさ子さん（七八歳）は周りの誰もが認める、息のぴったり合った働き者のご夫婦です

白畑さんのお宅は水稲・枝豆・大豆などを、隣で作っている農家の方が感心するほどいいに作られているそうです。

その中でも自信があるのが、八幡地区の中山間地域の畑まで足を運び作っている「鳥海里山芋」と名付けたサトイモとのことでした。やわらかくて甘みがあっておいしいと評判だそうです。多くの方に味わってもらうため販路を広げていきたいそうです。三也さんは一五歳から農業を

始めましたが、持ち前のチャレンジ精神から鉄工所や自動車整備などの仕事も経験しました。何でも器用にこなすことから、農業機械の修理や地元の神社に飾る蓑作りまで依頼されます。

「物事に取り組むと時間を忘れて夢中になる」と自己分析する性格が、周りからの信頼に繋がっているようです。

最後に、長く農業を続ける秘訣を尋ねると「気力と毎日体を動かすことが大事。そうすれば春になると自然にやる気が出てくる。農業以外にもまだまだやりたいことがたくさんある」とのこと。

農業は自分たちにとって誇りでもあり楽しみでもあると言うお二人、これからも仲良く健康に気をつけて頑張ってください。

（横山主税委員）



夫婦の仲が良くわかります

短 信

山形県農業会議会長表彰 受賞

一〇月二十九日に開催された県農業委員会大会において、後藤保喜委員が永年勤続功労（一五年）により県農業会議会長表彰を受けられました。



後藤保喜委員（平田）

農業委員選挙人名簿

登録申請について

農業委員の選挙人名簿は毎年一月一日現在で調整されます。郵送での送付・提出となります。申請書は、平成二五年一月一日（木）まで郵送ください。

住所要件

平成二五年一月一日現在で酒田市に住所を有する者

年齢要件

平成二五年三月三十一日に満二〇歳以上の者（平成五年四月一日以前に生まれた者）

耕作要件

- ① 一〇年以上の耕作業務を営む者（経営者）
 - ② 耕作業務を営む者の同居の親族または配偶者（耕作従事者）
 - ③ 一〇年以上の耕作業務を営む農業生産法人の組合員・社員
- ②、③については、年間六〇日以上耕作に従事する方です

農地の参考賃借料について

平成二四年度の農地の参考賃借料は、次のとおりです。あくまで目安の金額ですので、委託者・受託者双方で相談して決定してください

参 考 賃 借 料			
農 地	区 分	参考賃借料額	基準収量
田	1	17,000円	600kg
	2	14,000円	580kg
	3	11,000円	550kg
	4	8,000円	520kg
	5	2,000円	480kg以下
畑		6,000円	

※転作（大豆）を加味した金額となっております。

酒田の“旬”を食す 秋



「食の都庄内」
親善大使
レストラン ロアジス
グランシェフ
太田 政宏

「秋」 海からの贈り物!! 秋鮭、ガサ海老、ハタハタ、アワビ。
里からは、ブドウ、梨、柿、栗、赤カブ、ダイコン、ナス、また放牧で丸々と太った牛・豚たち、そして待ちに待った新米、新酒。庄内の秋は食材の宝庫であり、まさしく食の都と云われるゆえんである。

そして、今回は鮭をテーマに秋鮭とズイキ芋のキッシュと、秋鮭のルイベ風サラダをご紹介します。手軽な食材で簡単にできますので挑戦してみてください!!



秋鮭とズイキ芋のキッシュ



秋鮭のルイベ風サラダ

秋鮭とズイキ芋のキッシュ

材料 (21cmタルト型 1台分)

- ・秋鮭…100g
- ・ズイキ芋…170g
- ・タマネギ…50g
- ・小松菜…30g
- ・グリエールチーズ又はミックスチーズ…90g
- ・サラダオイル…少々
- ・塩…少々

◇アパレイユ

- ・牛乳…100cc
- ・生クリーム…100cc
- ・全卵…1ヶ
- ・卵黄…1ヶ
- ・塩…2.5g
- ・コショウ…少々
- ・ナツメグ…少々

◇練りパイ生地

- ・小麦粉…100g
- ・バター…50g
- ・水…約40～50cc
- ・塩…少々

作り方

- ① パイ生地を作る。冷えているバターを小さく切り、小麦粉と合わせ、手でサラサラにする。
- ② ①に水を入れ合わせ、軽く練ってから冷蔵庫で少し休ませる。
- ③ 秋鮭は1日前に塩をふり焼き、焼き上がったたらほぐしておく。
- ④ ズイキ芋はふかし、1cm角に切っておく。
- ⑤ タマネギは5mm角に切りさっと炒め、小松菜は茹でて5mm幅に切っておく。
- ⑥ ②のパイ生地を麺棒でのばし、タルト型に敷きフォークで穴をあけ、冷凍庫で休ませておく。
- ⑦ アパレイユはボールに全卵、卵黄、塩を入れホイッパーでかきまぜ、生クリームと牛乳を入れてナツメグ、コショウをいれる。
- ⑧ ⑥のタルト型に③④⑤を入れ、アパレイユを入れ、上にチーズをかけて210℃のオーブンで約30分焼き上げる。

※秋鮭のルイベ風サラダのレシピは酒田市ホームページ（農業委員会）をご覧ください。

春、突風でビニールハウスが倒壊、田畑の管理面での反省点もいくつかありますが、何とか秋の収穫作業も終了です。また、農機具のトラブルがなく作業が終えられたことはうれしいことで、プロの知恵も借りながら来年度に向けてのメンテナンスにも力が入ります。

還暦も過ぎ、「もの忘れをすようになった」と感じています。携帯電話等の置き忘れや、何を取りに行ったか「あれ？」と立ち止まることが時々、置き忘れて探していると相棒が察知して「四つの目で探した方が見つかるよ」と声を掛けてきます。ここはお互い様の状況なので遠慮なく協力してもらいます。年相応とはいえ、忙しい時ほど忘れるようなので、誰かとお茶等の一服も心のメンテナンスになりそうです。

(土)

